

輪を広げる元気な仲間

踊りきった、達成感共有

つるピー連

今年度も高松まつり総おどりに「つるピー連」として参加しました。「つるピー連」で総おどりに参加するのは3年連続で、子どもから大人まで幅広い年齢層の方が出場しました。

6月から参加者を募り、毎週1回コミュニティセンターや小学校の体育館で練習を積み重ね、最初は踊れなかつた方も、踊りが簡単なので、すぐに踊りを覚え楽しく練習できました。

8月14日当日は、踊りが始まる前にみんなが集



練習の成果を発揮し、高松市中央通りを踊り抜いたつるピー連㊦、㊦=8月14日夜

合写真を撮り、団結力を高め踊りに臨みました。もちろんつるピーもみんなと一緒に踊りました。沿道の声援を受けなが



ふれあい文化祭のゆめづくりコーナー。実行委員の笑顔が広がる=10月28日

ら、皆さん笑顔を決やさず、暑い中最後まで踊ることができました。

踊りが終わった後は、達成感をみんなでも共有でき、とても充実した一日になりました。今後も地域のみなさんの絆を大切に



高松市のコミキャラが集めたイベントにつるピーが初参加=11月4日、瓦町FLAG

「地域の輪」を広げて行きたいと思えます。(ゆめづくり事業実行委員・川股啓護)

人と人、つながり再認識

ふれあい文化祭

皆さんは今年の「文化祭」(10月27、28日実施)

を楽しみましたか？

「地域ふれあい交流事業(文化祭)」は人と人とのつながりを再認識する場。お互いの顔を知っていることは見守りの効果が将来にわたって期待出来る大切なことです。生涯学習の拠点施設でもある弦打コミュニティセンター。地域の方々が熱心に取り組まれていた様子を今年も拝見しております。ふれあい文化祭に成果を発揮し、うれしい限りです。微力ながらも今後施設が存在が有益なものであるよう尽力したいと思えます。(弦打コミュニティセンター長・小柳智美)

すてきな笑顔に出会え幸せ

今年度より「ゆめづくり事業実行委員会」の仲間として、藤まつり、ゆめ&キッズ夏まつり、高松まつり総おどりと、地域ふれあい交流事業といろいろな行事

のお手伝いをさせていただきました。

様々な行事に参加するなかで、行事に参加してくれている地域の方々の生き生きとしたす

「ゆめづくり」仲間入りして

すてきな笑顔がたくさん見ることができ、とても良かったなあとと思えました。今後も一人でも多くの笑顔に出会えるよう、微力ながらお手伝いさせていただきます。ゆめづくり事業実行委員・小椋章子)